



2001年6月2日に開業した札幌ドームは、2021年に開業20周年を迎えます。株式会社札幌ドーム（以下当社）では、ご来場のお客さまや地域の皆さまに開業20周年を広く知っていただくためのロゴマークを募集しておりましたが、このたび最優秀賞作品（採用作品）および優秀賞作品を決定いたしました（応募総数937作品）。詳細を以下のとおりお知らせいたします。

(1) 受賞作品

【最優秀賞 受賞作品（採用作品）】

- 制作者：手嶋 雅晴 様  
（千葉県・アートディレクター）
- 賞金：10万円



※採用にあたり、制作者様の許可を得て、作品の色・形状の一部を変更させていただきました。

制作者による作品説明：

20の数字にある二つの顔は、札幌ドームで熱演し、躍動するヒーロー、ヒロインたちとそれを鑑賞する人たち、両方の笑顔を象徴しています。またシンプルな目口は雪だるまも連想させます。まわりのカラフルな図形はドームに降り積もる「夢」のイメージで、多彩なイベントがあることを表現しています。

選考委員のコメント：

札幌ドームで活躍する人とお客さまの二重の笑顔がわかりやすく表現されており、賑やかで多彩なイベントが連想できる。また、「夢」を表すカラフルな図形がロゴマークをより一層明るく引き立てており、札幌ドームの明るい未来が思い浮かべられる。可愛らしくもシンプルな構成であり、ロゴマークを通して会話が広がりそうな、温かみ溢れる印象も感じる。開業20周年を広く告知するにあたり相応しい作品である。



-----手嶋 雅晴様の受賞コメント-----

この度は、最優秀賞を頂き、大変嬉しく感謝申し上げます。札幌ドームの開業20周年という記念すべきロゴマークに採用頂けたことは、デザインを仕事としている自分にとって、仕事の励みになります。私は小樽市の出身で、子供の頃、祖父に連れられよく札幌に行った思い出があり、それゆえに札幌には縁を感じます。北海道のスポーツ、エンターテインメントの発信地として、これからますますの発展を願っております。



【優秀賞 受賞作品】



- 制作者：高橋 英里 様  
(札幌市・グラフィックデザイナー)
- 賞金：2万円

**制作者による作品説明：**

過去から未来へ流れる風のような曲線に、特徴的なドームの形と20周年の「20」を掛け合わせた案です。あまり飾らずシンプルに、親しみの湧くようなデザインを目指しました。

**選考委員のコメント：**

一筆書きにより、札幌ドームの開業からの20年間の歩みとこれからの未来を想像することができる。単色かつ流れるようなデザインであり繊細ながらも、丸みのあるドームのイラストで可愛らしさも表現されており、大変バランスの良い作品である。

【優秀賞 受賞作品】



- 制作者：神出 由香 様(東京都・デザイナー)
- 賞金：2万円

**制作者による作品説明：**

20周年の数字をモチーフに印象的なドームの外観を組み合わせ制作しました。ロゴの青は北海道の広大な空をイメージし、ドームにかかる虹は未来にむけて「変わる時代」、そして虹の中心にはキラキラと輝く「変わらぬ感動」が常にあることを意味し、キャッチコピーとリンクさせたロゴになります。

**選考委員のコメント：**

札幌ドームの社員からも好評だった作品であり、シンプルかつカラフルなデザインが、印刷物やグッズに展開した際に明るく映えるものとなりそうである。また、色鮮やかな虹が、「感動」や「札幌ドームの未来」をよく表している。

(2) 選考方法

当社社員の社員投票の後、以下のロゴマーク選考委員会にて選考を行いました。  
応募作品数は937作品でした。

<ロゴマーク選考委員>

- ・山川 広行 (株式会社札幌ドーム 代表取締役社長) (ほか当社役員など3名)
- ・岡田 善敬 氏 (アートディレクター・グラフィックデザイナー)

(3) 表彰式について

新型コロナウイルスの影響なども考慮し、表彰式は実施しないことといたしました。